

## 令和5年度美馬市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年2月22日(木) 午後1時25分から午後2時25分まで

2 場 所 美馬市役所南館 3階306会議室

3 出席者 (構成員)  
美馬市長 加美 一成  
(構成員)  
教育長 村岡 直美  
  
教育長職務代理者 上田 加代  
委員 近藤 陽子  
委員 河合 純治  
委員 藤本 政義

(構成員以外の出席者)

園木副教育長  
近藤地域学習推進課長  
小倉教育総務課長  
長江教育指導監  
花岡教育総務課長補佐  
吉田企画総務部長  
吉本総務課長(事務局長)  
柳井総務課長補佐(事務局)

4 欠席者 伊藤給食センター所長

5 傍聴者 なし

6 日 程 開 会  
市長あいさつ  
議題  
(1) 令和5年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について  
(2) 教育費の令和6年度当初予算(案)について  
(3) その他の件について  
閉 会

吉田企画総務部長

企画総務部長の吉田でございます。  
ただいまより令和5年度美馬市総合教育会議を始めさせていただきます。  
それでは、開会にあたりまして、加美市長よりご挨拶を申し上げます。

加美市長

本日は、令和5年度美馬市総合教育会議を開催いたしましたところ、委員の皆様には、ご多忙のところにも関わりませず、ご出席を頂き誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、市政各般、とりわけ、教育行政の推進に、ご尽力を賜っておりますことに対しましても、この場をお借りして厚く、お礼を申し上げます。

今年は正月早々、能登半島を震源とする大きな地震により、北陸地方を中心に甚大な被害が、発生しております。

市と致しましては、1月8日から12日にかけて、県の入浴支援チームの一員として、職員を派遣し、市が保有するAI・水循環システムを活用した簡易シャワーシステムを提供したほか、これまでに、医師を含む4名の職員を派遣し、被災地支援に当たっております。

今回の地震は、道路、水道といったインフラも、甚大な被害を受けており、復旧、復興の道のりは、長期化することが想定されております。本市にお

加美市長

きましては、職員派遣のほか、市民の皆様や、職員からの義援金を被災地に、お届けしておりますが、引き続き、出来る限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

今週19日に開会した、美馬市議会 3月定例会には、防災・減災対策の更なる充実・強化を含め、本市が直面する課題解決に果敢にチャレンジしていくために、必要な予算を提案しております。

それでは、令和6年度、当初予算に計上しております、教育関係予算の、主な内容について、説明させていただきます。

まず、学校教育 関係予算では、小・中学校 教育用パソコンを更新するとともに、英語検定や、漢字検定 受験料の助成を拡充することにより、子どもたちの学力向上を支援してまいります。

中学校 部活動の移動支援につきましては、この取組を更に充実するために、ICTを活用し、部活動の開始や、終了、移動に使うタクシーの運行状況などの情報を、乗務員と部活動指導員、保護者などで共有できる仕組みを構築いたします。

また、外国語活動の支援や、子どもたちに感動を与える芸術体験などの事業を継続して実施することにより、美馬市ならではの特色ある教育を展開してまいります。

次に、社会教育 関係では、国指定史跡郡里廃寺跡の公園整備として、敷地内の排水施設や遺構表示、舗装等の工事を行うとともに、穴吹 スポーツセンターの大規模改修や、うだつアリーナの浴室・事務室の空調機器の更新など、必要な予算を計上しております。

こうした教育関係予算の内容につきましては、この後、詳しく説明があると思いますが、委員の皆様には、様々な方面から、忌憚のない、ご意見を賜りますようお願い申し上げまして、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願い致します。

吉田企画総務部長

ありがとうございました。それでは、議題の方に移らせていただきます。議事の進行につきましては、美馬市総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、加美市長にお願いいたします。

議長  
(加美市長)

それでは、これより、私の方で進行をさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。まず、議題1の令和5年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、事務局から説明をしてください。

事務局長  
(吉本総務課長)

議題(1)の令和5年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、それぞれ担当課から、説明させていただきます。まず、教育総務課、続いて地域学習推進課から、本年度実施いたしました、主な事業の概要について説明させていただきます。

小倉教育総務課長

それでは、まず、教育総務課所管分について説明させていただきます。

令和5年度総合教育会議資料の1の1ページをお願いいたします。初めに教育のICT化に向けた環境整備事業でございます。

1. 事業目的は、ソサエティ5.0時代に対応した地域や、日本の未来を主体的に担う子どもたちを育成するものでございます。

2 事業内容といたしまして、本年度は、高速大容量の校内LAN及び一人一台端末を用いて学校と家庭学習への活用を継続し、ICTを日常的なものとして定着させる取り組みを行いました。

学校における活用では、新たに授業支援アプリである、メタモジを全ての学校に導入したことにより、学習状況のモニタリングや指導が可能となり、端末を授業ノートとして活用できる環境整備を行いました。

また、クラウド型の学習アプリケーションとして、小学校では東京書籍のタブレットドリルを、中学校ではリクルート社のスタディサプリを引き続き活用し、朝学習や授業の振り返りに活用しております。

家庭では、一人1台の端末やモバイルルータ、予備充電器の貸し出しにより、アプリによる宿題や、授業支援アプリケーションの導入による遠隔授業の実施環境が整いましたので、積極的に活用しております。

また、ICT教育の推進は、教職員の指導力、機材に対する理解力の向上が必須であり、ICT教育支援員が中心となり、課題解決のためのフォローを行っているほか、教職員間においても、利活用に関するノウハウの共有等の自主的な取組が進んでおり、教職員1人ひとりの指導力の向上が見られております。

今後も、効果的で質の高い教育のためのICT利活用を進めてまいりたいと考えております。

次に、2ページをお願いいたします。

美馬市英語教育推進事業、0歳児から中学卒業までの一貫した英語教育の実現についてでございます。

1. 事業目的は、グローバル化が進展する新しい時代に対応できる人材を育成するためとしております。

2. 事業内容として、平成30年に策定した英語教育推進計画の成果と課題を踏まえ、更なる英語教育の充実に向け、令和5年2月に第2次英語教育推進計画を策定しました。

また、英語教育においてもICT機器等の効率的な活用に取り組んだほか、教員の指導力の向上のため、研修を深めてまいりました。

0歳から小学校入学までは、英語に慣れ親しむ活動を年間で8時間以上確保し、小学校では指導要領の改定による、英語活動教育を本市では2年はやい平成30年度から実施し、外国語教育指導監が、教員の指導、助言を行ってきました。

市内の小学校教員は、外国人講師等との授業を組み合わせながら、自信をもって英語教育に取り組んでおります。

小学校5・6年生では、外国人講師とともに、パフォーマンステストを実施し、中学校教育を見据え、振り返りを実践的に行っています。

中学校では、ALTがICT機器を活用しながらコミュニケーション学習の強化を図るとともに、中学校卒業までの英検3級合格を目指し、中学校3年生への受験料助成事業を行っていましたが、令和5年度から中学生全学年に助成範囲を広げ、取り組みましたが、英検3級の取得率は計画が目標とする65%には達していません。

今後も、生徒へ検定への挑戦や合格の意義を伝え、取得率の向上を図って参りたいと考えております。

認定こども園・幼稚園をはじめ、小学校も1年生から外国人講師と英語活動を行い、就学前から小中学校へ段階的な英語教育を実施しております。

3ページをご覧ください。

英検受験料助成事業の今年度の状況でございますが、中学生592名のうち、助成者数は98名で、生徒数に対する割合は16.7%、3級以上の合格者は70名で、生徒数に対する割合は12.8%で、昨年度より、生徒数に対する受験者の割合や取得割合は下回る結果となりました。

表は、事業を開始した平成30年度からの5か年の状況でございます。年度により波もありますが、特に令和5年度は助成対象学年を広げたことから割合が大きく低くなっております。来年度以降、引き続き学校へ事業活用の啓発と指導を行い、多くの中学生に英検3級取得にチャレンジしてもらいたいと考えております。

下段は小学生に英語が好きかというアンケートの結果となっております。好き、まあまあ好きと回答した児童が7割から8割程度の状況でございます。英語に慣れ親しむことができている結果となっております。

続きまして4ページをお願いいたします。  
子どもたちに感動を与える芸術体験事業でございます。

1. 事業目的は、音楽や芸術に対する感性を育てるとともに豊かな情操を養い、たくましい人間性をつちかうこととしております。
2. 事業内容といたしましては、平成29年度より、全ての4歳以上の園児、児童生徒にプロの音楽家の公演を聞く事業を実施してまいりました。

記載の通り、令和2年、3年は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっております。令和4年度も直前でミライズホールでの鑑賞はできなくなりましたが、オペラの演者の協力を得て、DVD作品を作成し、各校で視聴する方法により、事業を実施いたしました。

また、令和5年度は4歳児から小学4年生までを対象とし、ミュージカルコンサートを鑑賞いたしました。

次の5ページをお願いします。

公演鑑賞後のアンケート結果でございます。  
アンケートについては、園児や低学年の児童も鑑賞している事もあり、保護者に対し、子どもからの聞き取りによる方法で実施いたしました。  
とてもよかった、よかったとの回答は93%でございます。高評価を得られました。

ほとんどの保護者が、なかなか体験できない芸術に触れる機会を設けてくれた事への感謝と、事業継続を望んでいる意見が多くございました。

今後も、子どもたちの感性を幅広く養うために、ミュージカルや、演劇、日本の伝統芸能にも広げ、芸術体験活動を推進してまいりたいと考えております。

次に、6ページをお願いいたします。

本年度実施した主な市内小中学校施設管理・整備関係事業でございます。令和5年度は、主な事業として、市内の小学校の屋内運動場や、中学校の屋内運動場及びグラウンドの照明をLEDに更新を行いました。

また、3番から5番につきましては、給食センター整備に係る事業でございます。市内の3つの共同調理場を配膳室に改修を行ったほか、新センターへの光回線の引き込みや、次のページにございますように、市職員の机や椅子など事務室内の備品を整備いたしました。

次に、6番にありますように、脇町小学校はブランコを、岩倉小学校は山形雲梯を更新いたしました。

7番については岩倉小学校のプールについてでございますが、経年劣化によりプールサイドのシートがはがれたり、循環用の配管から漏水の可能性のあることから、改修の調査設計を行いました。

調査の結果、老朽化が激しく、改修が必要ということがわかり、概算ではございますが3億から4億円程度かかるということから、改修は行わないこ

とを決定いたしました。

しかし、子どもたちにはプール体験は必要と考えておりますので、今後学校とも協議しながら、民間の施設を活用できるよう進めてまいりたいと考えております。

次のページをお願いします。

市内の幼稚園、小学校、中学校の老朽化したエアコンの更新を行っております。主な整備の状況は記載のとおりでございます。

資料1の教育総務課所管分の主要事業は以上でございますが、ここで幼小中学校の各校の教育活動を別添の資料にまとめておりますので、少し紹介いたします。

別添資料、美馬市立幼稚園、小学校、中学校令和5年度学校・園活動をご覧ください。

初めに幼稚園の活動でございますが、1ページをご覧ください、脇町幼稚園では、外国人講師による英語活動やヴォルティス元気ッズプログラムによる運動遊びを、また、次のページでは毎日の園の様子などを掲載しております。

次に、3ページになりますが、木屋平幼稚園では園児3人という少人数ではありますが、小規模園のメリットを生かし、小中学校との交流や地域との交流、また他園との交流を行うなど、子どもたちがいろいろな体験から成長しています。

次に小学校でございますが、13ページの脇町小学校をご覧ください。脇町小学校では6年前からポジティブ行動支援の考え方を取り入れ、望ましい行動が起こりやすい環境をつくり、達成感や成功体験につなげるよう取り組んでおります。

その成果が認められ、令和5年度に県教育委員会から、グループ表彰を受けております。

13ページにはICT教育の様子や英語教育の様子を、14ページから16ページにかけては、学校での主な取組を掲載しております。

続いて、中学校でございますが、51ページの三島中学校をご覧ください。

三島中学校におきましてもICTを活用した学習を進めており、総合や保健体育、技術、英語など様々な教科において活用しております。また、次のページは英語教育、特別支援教育のことを、53ページの上段はキャリア教育、総合的な学習の時間の取組でございます。

各報道機関にもございましたが、美馬市の歴史・文化を後世に伝える事を目的とした、市立図書館のデジタルアーカイブシステム、美馬の記憶デジタルアーカイブを活用した連携事業に取り組み、11月23日にはミライズで全校生徒で発表しました。

また、ここには掲載しておりませんが、三島中学校の3年生が徳島県代表として沖縄で開催された第23回全国中学校総合文化祭に参加し、人権劇を披露しました。

これまで取り組んできた事を全て出し切り、良い経験になったと聞いております。

時間の都合上、一部の学校での取り組みの紹介となりましたが、地域や子どもたちの特性を生かした特色ある取組についても掲載しておりますので、後ほどご覧いただければと存じます。

以上で教育総務課からの説明を終わります。

続きまして、地域学習推進課所管分をご説明いたします。

資料の9ページをお願いいたします。

1. 社会教育関係でございます。

令和5年度美馬市二十歳の集いを、令和6年1月2日に、ミライズ市民ホールにて実施いたしました。

本年度二十歳を迎えられた対象者は、270人で、その内201人が出席されました。

次に、放課後子ども教室運営事業でございます。

本事業は、放課後や週末に小学校の空き教室などを活動拠点とし、地域住民の参画のもと、学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動などを実践することにより、豊かな人間性の構築と地域コミュニティの充実を図る事業でございます。本市においては現在、小学校区のうち、江原北・江原南・脇町・岩倉・美馬・穴吹にそれぞれ1教室と、スポーツクラブが運営している4教室の計10教室あり、556人の子どもたちが利用しております。

続いて、市立図書館運営事業でございます。

美馬市立図書館は現在、株式会社図書館流通センターが指定管理者として管理・運営しており、図書の貸し出しのほか、年間を通して各種展示やイベントの開催、出張図書館なども実施しております。

昨年4月1日から今年1月末までの利用状況を10ページにかけて掲載しておりますが、左側の数字が本年度の数字、右側が昨年度同じ期間の数字でございます。本年度の数字のみ申し上げます。

開館日数241日の間に、来館者数が8万5千611人であり、その内、図書の貸出しを利用した方が2万181人で、貸出冊数は、12万8千990冊でございます。

なお、昨年6月に平成30年5月開館以降の来館者数が、50万人に達しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としましては、3に記載の通りでございます。現在も継続中となっております。

本年度の特徴的なイベントとしましては、11ページから12ページにかけていくつか写真を掲載しておりますが、郷土の偉人の顕彰、将棋を通じた地域交流を目的とした将棋大会や、世代間交流の促進を目的とした昔の遊びを楽しむイベントなど参加型イベントの開催。牧野富太郎博士が実際に収集した標本などを展示した企画展や、とくしま藍の日に合わせた藍染め作品の展示など展示型のイベントを実施しております。他にも、ビジネス支援セミナーや、落語会など幅広いジャンルでイベントを開催しております。

また、今年度は美馬の記憶デジタルアーカイブを活用した三島中学校との連携事業、みまデジDAYを開催し、探求学習の発表や展示を行いました。

12ページ中段 人権教育でございます。

美馬市人権教育推進協議会では、昨年6月に開催した総会に合わせて研修会を開催したほか、7月には、弁護士の菊地幸夫さんを講師にお迎えし身近な思いやりその延長が人権と題しての人権講演会を開催しました。

このほか、県内外で開催された研究大会へも参加しており、来月には、独自の現地研修として、香川県の国立療養所大島青松園にてハンセン病対策による人権侵害の歴史と現状を学ぶ予定となっております。

次の美馬市人権教育指導者育成講座につきましては、地域社会における人権問題の解決に向け、幅広い分野から人権尊重のまちづくりを進める指導者の育成を図るため、実施しております。

今年度も8月から2月までの期間で計4回の講座を開催いたしまして、企業、各種団体などから38人に受講いただくことができました。

次に、人権フェスティバルについてでございます。

本市では、人権問題の解決を自らの課題として主体的に取り組む活動の1つとして、地域における人権教育推進の中核的な役割を担っている教育集会所活動を重視しています。

人権フェスティバルは、脇町に3箇所ある教育集会所で学ばれている皆さんが一堂に会し、学習成果の表現や、作品公開をはじめ、交流を広げることで人権・同和教育・啓発を図る目的で開催されており、本年度は、3月10日に地域交流センターミライズで開催いたします。

続いて、第19回美馬市文化祭でございます。

第19回美馬市文化祭を昨年11月4日から10日までの7日間、美馬市地域交流センターミライズにおいて開催いたしました。

次のページに写真を掲載しておりますように、4日は、午前に関会式を、午後からは、放送作家の野々村友紀子さんを講師にお迎えし、強く生きるためのヒントと題しての講演会を行い、約300人が来場しました。

5日には各種団体の芸能発表を開催し、27団体が日頃の活動の成果を披露しました。

また、10日までの期間中には、書道や絵画、手工芸品、生け花、小中学生の作品などの展示も行いました。

このほか、協賛事業といたしまして、9月15日から12月15日の間に文化・芸能・スポーツなどの42の行事も行われています。

次に、13ページ中段、2. 社会体育関係でございます。

本市におけるスポーツの普及、振興をはじめ、スポーツを通じた子どもの健全育成のため、様々な社会体育団体や指導者に活動いただいております。

市スポーツ協会につきましては、22団体が加盟しておりまして、会員数は、1,084人でございます。

総合型地域スポーツクラブは市内で5団体が活動しています。また、スポーツ推進委員は現在34人が活動しております。最後にスポーツ少年団は市内に12団体、団員145人でございます。

次に社会体育施設の管理状況としましては、うだつアリーナ、穴吹スポーツセンター、美馬市民グラウンド、美馬リバーサイドパークなどの施設があり、このうち、うだつアリーナは、新町公園内の施設として、公益社団法人美馬市シルバー人材センターを指定管理者に、美馬リバーサイドパークはAMENBOを指定管理者として、管理運営を行っております。

両施設とも本年度が指定期間の最終年度でございましたが、12月議会で、令和6年度から令和8年度についても同団体を指定管理者として選定いただいております。

社会体育施設に関する今年度の主な事業としましては、岩倉国民体育館の解体工事を実施したほか、美馬リバーサイドパークに多目的広場を整備中でございます。

14ページをお願いいたします。

老朽化により大規模改修が必要となっている穴吹スポーツセンターにつきまして、現在、調査・設計を実施中でございます。

続いて、第70回記念徳島駅伝についてでございます。

今年1月4日、5日に開催された徳島駅伝において、本市選手団の成績は、総合で前回成績を上回る4位入賞、中学生総合及び女子総合では初優勝を果たしました。

また、個人成績においても、6つの区間賞と女子MVPを獲得するなど好成績を収めております。

最後に、3. 文化財関係でございます。

本市における指定文化財といたしましては、国指定重要文化財が5件、国

近藤地域学習推進課長

選定重要伝統的建造物群保存地区が1件、国登録有形文化財が28件、県指定文化財が17件、市指定文化財が59件ございます。

文化財関係の主な事業について説明いたします。

まず、伝統的建造物群保存対象事業でございます。

国選定重要伝統的建造物群保存地区内に所在する、伝統的建造物群の保存修理に係る補助を行うもので、今年度は、2件の修理事業の補助を行い、現在実施中でございます。

また、災害復旧分の修理事業につきましては、本年度は8件に補助を行っています。

15ページをお願いいたします。

埋蔵文化財関係でございます。

埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に伴う事前調査を本年1月末時点で18件、行っております。

続いて、国指定史跡郡里廃寺跡整備事業でございます。

本年度は、事業着手に向けて昨年5月に地元説明会を開催し、7月からは先行して支障物件の撤去工事に着手、11月に完了しております。その後、11月に整備工事を発注し、土地造成と給水管の敷設などを進めております。

次に、各種検討委員会の開催状況でございます。

郡里廃寺跡整備検討委員会を昨年8月に開催いたしまして、実施設計案に関して審議いただき、修正を経て了承されております。

また、吉田家住宅内に整備予定の歴史資料館（仮称）整備検討委員会につきましては、昨年12月に委員会を開催し、展示項目や説明内容の概要に関して、原案を提示して協議を行いました。来月に2回目の開催を予定しており、展示内容の詳細などの協議を行います。

最後に、日本遺産、藍のふるさと阿波魅力発信事業でございます。

令和元年5月に日本遺産に認定された阿波藍について、自治体会員9市町と7つの民間会員で構成されている藍のふるさと阿波魅力発信協議会の事業としてサポーター養成講座やパネルの巡回展示を開催しております。

また、文化庁の委託事業に採択され、外国人向けのツアー造成や商品開発を行っています。

以上で地域学習推進課の主要事業の実施状況の説明を終わります。

よろしくお願いいたします。

議長

（加美市長）

議題（1）について、それぞれ説明がございましたが、何かご意見がございましたら、お願いいたします。

（意見なし）

それでは、次に議題（2）の教育費の令和6年度当初予算（案）について事務局から説明してください。

事務局長

（吉本総務課長）

議題（2）の教育費の令和6年度当初予算（案）について副教育長から、説明させていただきます。

園木副教育長

それでは、私から教育費の令和6年度当初予算（案）について、ご説明させていただきます。

資料1の16ページ及び17ページをお開き下さい。

こちらの表は、令和6年度 美馬市一般会計の当初予算案のうち、教育費の概要を記載したものでございまして、左から順に、右に向かって、予算の



項と目の区分、令和6年度と5年度の予算額、予算額の比較、財源内訳、そして、右端の説明欄には、目ごとの主な事業などについて、記載を致しております。

それでは、この表に沿って、主な内容の説明をさせていただきます。

最初に、16ページ、項の教育総務費でございます。

目の上段、教育委員会費の予算額は、83万5千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりであります。

下段の事務局費の予算額は、2億1千224万7千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、教育長や教育総務課の職員をはじめ、外国語教育、指導監1名、外国語活動支援講師2名、ICT教育支援員1名などの報酬や、子ども達に本物に触れる機会を体験できるように、芸術体験事業費などを計上しております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、木屋平にある教員宿舎の屋根の修繕費なども計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、658万6千円の増額となった主な理由は、ただ今申し上げた、教員宿舎の修繕費や会計年度任用職員への勤勉手当支給などの、職員人件費によるものであります。

この後にも、各項目での増額内容のご説明をいたしますが、そのうち職員人件費によるものにつきましては、会計職員年度任用への勤勉手当支給が主な要因となっております。

次に、項の小学校費でございます。

目の上段、学校管理費の予算額は、2億1千131万2千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市内小学校の管理運営費をはじめ、教育用パソコン活用事業やタブレット型端末更新事業などです。

このうち、教育用パソコン活用事業では、教育用や校務用に配備しているノート型パソコンなどの更新に伴う借上料や環境設定委託料として3千182万6千円を、また、タブレット型端末更新事業また、本年度リースとして新たに購入したタブレット型端末機200台の更新及び維持管理費用として750万円をそれぞれ計上しております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費、また、施設の屋内外照明のLED化、老朽化している空調施設更新する経費なども計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、3千496万8千円の増額となった主な理由は、ただ今申し上げた教育用パソコンの活用事業費や、職員人件費によるものであります。

次に、下段の教育振興費の予算額は、8千624万2千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業や要保護及び準要保護児童 就学援助費などです。

詳細といたしましては、スクールバス等運行事業では、タクシーによる遠距離児童通学輸送事業の分も含めた、4千468万1千円を、また、要保護及び準要保護児童 就学援助費等では、特別支援教育就学奨励費の分も含めた、1千774万9千円をそれぞれ計上しております。

このほか、会計年度任用職員のスクール・サポート・スタッフ8人分の人件費の経費なども計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、412万3千円の減額となった主な理由は、スクールバス運行業務でのよるものであります。

次に、項の中学校費でございます。

目の上段、学校管理費の予算額は、1億8千590万円を計上しております。また、予算の主なものと致しましては説明欄に記載のとおり、市内中学校の管理運営費をはじめ、教育用パソコン活用事業や教育用認証サーバーの更新事業などでありまして、

このうち、教育用パソコン活用事業では、小学校同様に教育用や校務用などに配備しているノート型パソコンなどの更新に伴う借上料や環境設定委託料として3千350万3千円を、また教育用認証サーバーの更新事業では、教育用認証サーバーのサポート期間の終了に伴い、サーバー機器の購入に要する費用として、3千860万1千円をそれぞれ計上しております。

このほか、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費や、施設の屋内照明をLED化に更新する経費も計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、3千626万6千円の増額となった主な理由は、ただ今申し上げた教育用パソコンの活用事業や教育用仮想サーバーの更新に伴う費用によるものであります。

次に、中段の教育振興費の予算額は、1億1千254万2千円を計上しております。また、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業や要保護及び準要保護生徒就学援助費及び部活動地域移行支援事業などでありまして、

詳細といたしましては、スクールバス等運行事業では、タクシーによる遠距離生徒通学輸送事業の分も含めた、1千652万8千円を、また、要保護及び準要保護 生徒就学援助費では、特別支援教育就学奨励費や、夜間中学校就学支援費も含めた、1千607万9千円を、それぞれ計上しております。

また、先程、加美市長の挨拶にもございましたように、本年度から実施しております、部活動地域移行支援事業として、地域移行推進監や、総括指導者に要する人件費及び、指導時に必要となる経費として、609万円、そして、部活動移動支援導入事業として、合同チームへの移動支援や部員数の多いソフトテニス部に対して練習場所の確保として、うだつアリーナや清月屋敷のテニスコートを借上げる費用などを含め977万7千円を計上しております。

さらに、国の補助金を活用し、合同チームにおいて練習の開始や終了時刻また、生徒の送迎車での乗り降りの状況の確認などの情報を、乗務員と部活動指導員、学校、保護者がスマートフォンを利用して共有できる仕組みを構築する経費として、新たに1千940万円も計上し、継続して部活動への支援を行ってまいります。

このほか、説明欄への記載はございませんが、部活動指導員や、スクール・サポート・スタッフといった会計年度任用職員の人件費なども計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、2千413万1千円の増額となった主な理由と致しましては、ただいま申し上げた、部活動への支援事業に係る費用によるものであります。

次に、下段の外国青年招致事業費の予算額は、2千881万7千円を計上しております。また、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、外国語指導助手、いわゆるALT6名分の活動経費などでありまして、

なお、5年度の予算額と比較して、38万9千円の減額となった主な理由は、ALTの経験年数に伴う報酬費の変更によるものであります。

次に、表の最下段、項の幼稚園費でございまして、目の幼稚園費の予算額は、8千219万5千円を計上しております。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、脇町幼稚園と木屋平幼稚園の2園に係る管理運営費と、脇町幼稚園で実施する予定の一時預かり事業、いわゆる預かり保育事業などの経費でありまして、主に、職員の人件費でございまして。

なお、5年度の予算額と比較して、558万4千円の減額となった主な理由は、正規職員の人件費によるものであります。

次に、17ページ、項の社会教育費でございます。

最初に、目の最上段、社会教育総務費の予算額は、7千328万6千円を計上しております。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、小学校の児童たちの放課後対策として、実施している放課後子どもプラン事業、1千325万1千円や、各中学校区におきまして、地域ぐるみで学校運営を支援するために、取り組んで頂いている学校支援助地域本部事業、273万2千円また、二十歳の集い開催事業175万9千円の経費などでありまして。

このほか、説明欄への記載はございませんが、文化祭や、地域学習推進課の一部の職員の人件費なども計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、89万7千円の増額となった主な理由と致しましては、職員人件費によるものであります。

次に、公民館費の予算額は、262万3千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおり公民館の管理運営費でございまして、5年度の予算額と比較して、25万7千円の増額となった主な理由は、施設の修繕料などでありまして。

次に、図書館費の予算額は、6千260万2千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市立図書館の光熱水費などの管理運営や、指定管理料の経費であります。

なお、5年度の予算額と比較して、56万5千円の増額となった主な理由は、電気使用量の資産に基づいたものでございまして。

次に、文化財保護費の予算額は、2億195万3千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、青木家、三木家、郡里廃寺跡、段の塚穴などの文化財の管理運営や、郡里廃寺跡 環境整備事業の経費などでありまして。

このうち、郡里廃寺跡 公園整備事業につきましては、本年度から整備に着手しておりまして、区域内にある支障物件の撤去後、現在敷地内の盛土などの造成工事を行っております。6年度につきましては、外構工事として、擁壁工やフェンスの設置、排水施設の整備や舗装工事、また金堂跡や塔跡などを区画する遺構表示の一部を施工する費用や工事中の施行管理委託料などとして、1億9千620万円を計上し、順次整備を進めて行くこととしております。

なお、5年度の予算額と比較して、9千736万8千円の増額となった主な理由は、ただいま申し上げた、郡里廃寺跡 公園整備事業に係るものであります。

次に、重要伝統的建造物群保存対策事業費、資料には、短くして重伝建保存対策費と記載してございまして、予算額は、2千574万7千円を計上して

ます。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、うだつの町並み建造物保存事業の経費を計上しておりまして、4件の保存修理に係る助成金、2千354万6千円と、台風などの風水害で被害があった、4件の修理に係る助成金168万8千円などであります。

なお、5年度の予算額と比較して、989万1千円の増額となった主な理由は、6年度より修理に係る補助金の上限額を引き上げ、修理件数を増加したことによるものであります。

次に、教育集会所事業費の予算額は、348万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、教育集会所の管理運営経費であります。

なお、5年度の予算額と比較して、73万2千円の増額となった主な理由は、施設の修繕によるものでございます。

次に、人権教育費の予算額は、475万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、人権教育・識字学級交流事業の経費のほか、記載はございませんが、美馬市人権教育推進協議会に対し、活動経費の補助金も計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、33万円の増額となった主な理由は、人権教育の資料作成料や全国研究大会へ要する費用によるものでございます。

次に、青少年育成センター費の予算額は、883万5千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりでございまして、5年度予算額との比較して123万円の増額となった主な理由は、職員人件費によるものでございます。

次に、項の保健体育費でございます。

最初に目の上段保健体育総務費の予算額は、3千210万円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、各種スポーツ振興事業などの経費でございまして、地域学習推進課の一部の職員の人件費のほか、市のスポーツ協会、スポーツ少年団、徳島駅伝の選手育成事業などに対する補助金として、872万7千円を計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、14万2千円の増額となった主な理由は、各費目ごとに係る軽微な増によるものであります。

次に、中段の体育施設費の予算額は、4億2千198万6千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、体育施設管理運営事業として、うだつアリーナを含む都市公園や、美馬リバーサイドパークの指定管理料、4千27万円や、うだつアリーナの空調整備や火災報知設備の修繕費として1千192万4千円を、そして、穴吹スポーツセンター大規模改修事業につきましては、経年劣化により、昨年雨漏りの影響で天井の部材が剥がれ落ちるなどの事案が発生し、今年度調査を行いまして、6年度に改修工事を実施することとし、同時にアリーナの床の張替えや、照明のLED化、またトイレも改修を行い、それにかかる事業費として、3億5千526万3千円をそれぞれ計上しております。

なお、5年度の予算額と比較して、2億1千489万1千円の大幅な増額となった主な理由は、本年度、岩倉国民体育館の解体工事や美馬リバーサイドパーク多目的広場の整備工事が終了いたしますが、ただ今申し上げた穴吹スポーツセンター大規模改修工事に伴う費用を別途計上したことによるもの

園木副教育長

でございます。

最後に、学校給食費でございます。  
予算額は、3億3千421万5千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、学校給食センターの管理運営事業として、運営管理に係る委託費や施設の維持管理費3億1千32万4千円や、美馬市産米給食推進事業として、1千175万9千円をそれぞれ計上しております。新センターのもと引き続き、安全で安心した、おいしい給食を子ども達に提供してまいります。

なお、5年度の予算額と比較して、9億7千377万7千円と、大幅な減額となった主な理由は、美馬市学校給食センター整備事業が本年度完了したことによるものでございます。

令和6年度「教育費」の予算額は、総額と致しまして、表の最下段の計のとおり、20億9千167万7千円であります。

この額は、前年度の予算額と比べて、5億5千561万9千円、率にして、約21パーセントの減額となっております。

以上、簡単ではございますが、令和6年度当初予算（案）の説明とさせていただきます。

よろしくお願い致します。

議長  
(加美市長)

議第(2)、教育費の令和5年度当初予算（案）について御質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

(意見なし)

それでは、議題(2)の教育費の令和6年度当初予算（案）につきまして、今月21日に開会しました令和6年3月美馬市議会定例会に提案し、議会の審議を頂いておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、議第(3)その他の件について、何か委員の皆さんからございましたら、お願いいたします。

上田委員

失礼いたします。  
今年度、これまでの間に感じたことや思っていることなどを述べさせていただきます。

コロナが5類に移行してから、各園小・中学校では、活発で活動的な子どもたちの様子が見られるようになりました。大勢でおしゃべりをし、戸外では歓声をあげながら遊んでいます。こんな元気いっばいの子どもたちの体をつくり、楽しみとなっているのは、やはり給食です。

今年度、新しくできた給食センターでは、関係の方々や職員の方々のご努力があり業務は順調に起動のつて毎日子どもたちへ給食が届けられています。9月以降、時折、子どもたちに給食について尋ねていましたが、子どもたちは「おいしい」「量も丁度良い」「汁物も温かい」「デザート最高」などと嬉しい声を聞きました。

安全で安心して口にできる給食が全市内の子どもたちに毎日提供されておりますことに感謝いたします。

また、今年度は、中学校の部活動地域移行のために、当初より人的な配置をしてくださいました。県下でも早々にその円滑な実施に向けて取り組みを進めてくださっております。子どもたちは、選べる部活、より質の高い部活、多くの仲間と励むことができる部活で学んでいけるだろうと思います。

中学校での部活での出会いにより、現在スポーツ界などで活躍している人

たちを美馬市は輩出しております。

次年度も、移動支援を拡充したり、指導員の増員を図るなど、多額の予算を考えてくださっており有り難く存じます。保護者からも負担が軽減されるなど、とても歓迎されていると聞いています

I C T教育では、園、学校で一層充実した取り組みが行われているようです。小学校高学年にもなりますと配布されているタブレットを自在に使い、授業中だけでなく宿題や課題解決のために大いに利用しています。

キーをたたく指使いや検索など、驚くほど早く的確で私など本当に知らない世界です。

英語教育でも、園、学校で継続、また進展した実践がなされおります。何よりA L Tや外国人講師の方が身近にいてくれる環境は子どもたちの英語力を伸ばす大きな力となっているように思います。

一部のみ取り上げて申しましたが、今年度も様々な面から教育施策を講じていただきましたことに深くお礼申し上げます。どうか、次年度も引き続き子どもたちのために一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。

ありがとうございました。しっかりと御意見に添えるよう尽力して参りたいと思います。

その他、御意見、ございませんか。

(意見なし)

他に御意見がなければ、以上をもちまして総合教育会議を閉会させていただきます。慎重な御審議を賜りまして、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては終始熱心にご審議いただき誠にありがとうございました。

以上をもちまして令和5年度美馬市総合教育会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(午後2時25分終了)

議長  
(加美市長)

議長  
(加美市長)

吉田企画総務部長